

# かながわ子ども教室

## ニ ュ ー ス 第74号

### 理事長退任のご挨拶

特定非営利活動法人かながわ子ども教室

鳥居 圭市



5月21日の総会で、NPO法人かながわ子ども教室（以下「会」といいます）理事長の退任が決まりました。4年間にわたり大過なく務められました（と思います）のも、皆様のご指導ご協力の賜物と心から御礼申し上げます。この間の主なトピックスは以下のようなことかと存じます。

当会の本業といえる教室開催では、先生役（新しい教科の開発：気象、まわれ浮沈子、わたしたちと水：と既存の教科の内容の見直し他）、地区担当役（相手先との調整他）、サポーター役（教室での要改善点の指摘他）の体制で、会全体での取組みが順調に進んでいます。サポーター・機材受け渡し調整役を2014年度から設け、実行委員会に先だつてのメールでの調整で、委員会の開催時間短縮（1時間程度）が実現しました。

運営の基盤とも言える財政面ですが、2014年での福祉医療機構（WAM）からの助成金終了に伴う収入の大幅減に直面しました。対応策として、新しい助成金の獲得、謝礼金の可能な範囲での増額努力、交通費削減等々の様々な手段を、きめ細かく実践してきました。

会計面では、2015年に新しい会計システムと、請求書・領収書の新形式を導入しました。各位の交通費、諸経費の請求から支払いまでをワンストップで処理し、同時に会全体の費目別、期間別実績把握が可能となり、会計担当の負荷の軽減と会全体の会計の明瞭化に貢献したと考えます。

2014年8月に「かながわ子ども教室10周年」を迎え、舟木前理事長以下のPJ体制下で、記念誌（CD）の発行と記念パーティーの開催（2015年2月）を実施しました。

ホームページで、教室開催風景の動画導入などの各種の新しい機能を導入しつつあり、会としての広報及びデータベース機能の充実が進んでいます。

ダイヤ高齢社会研究財団等の関係先のバックアップを頂きながら、内閣府担当大臣、プラチナギルドアワードからの表彰、高齢者向け雑誌への掲載等が実現しています。

我々のような高齢者が集団で活動に取り組む際の5つのポイントを長寿社会開発センターから開示頂きました。①目的がシンプルでメンバーが共有出来る。②運営を組織化している。③積極的に外に出て行き、新たな刺激を得る。④活動内容を記録に残し、「見える化」している。⑤自分た

ち自身が楽しんでいる。です。この5項目の全てが当会の活動に当てはまっていると考えます。自分自身、この会での活動がなかったらどんな高齢者生活になっていただろう？と思わざるを得ないほど、この会の活動は高齢者の元気の維持増進に適したものと言えるのではないのでしょうか。

以上の諸事項は会の皆様が全員で協力して実現したものばかりです。理事長は、平たくいえば「小使い役」として会の円滑な運営のお手伝い・下支えをしてきたつもり、というのが正直な実感です。このたび勝浦さんに理事長職を引き継いで頂く事になりました。今後は新執行部のご指導の下、1会員として引き続き頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

## <かながわ子ども教室> (勝浦)

平成29年度(29年4月-30年3月)の教室活動の要旨は以下の通りです。

### ① 教室開催回数と参加者(カッコ内は平成28年度データ)

以下の通り、29年度は前年度に比べ開催回数は増加いたしました、昨年度大幅に増加した暮らしの教室が若干減少し、科学教室が大幅に増加しました。生徒・学生の参加者数は、教室、フェスタともに増加しています。

子ども科学教室が127回(113回)、子ども暮らしの教室が22回(26回)、合計149回(139回)でした。この他に各地で開催されたフェスタに7回(6回)参加しました。これを加えると156回(145回)になります。参加者は当会員が延1,065人(945人)、小中高学生参加者が延5,871人(5,596人)《内教室が3,934人(3,853人)、フェスタが1,937人(1,743人)》、その他参加者(保護者等)が2,038人(1,859人)でした。秋田で開催されたねんりんピックは、会場の立地条件もよく、主催者のPRなども追い風となって、参加者は昨年に比べ、大幅に増加しました。川崎市青少年フェスタでも、1,000人を超える来場者がありました。29年度特記すべき事項としては、鳥が丘小学校での3学年9クラスの授業に加え、所沢市立北秋津小学校で1学年2クラス、北山田小学校で1学年3クラス、牛久保小学校で1学年3クラスと大幅に正規授業の開催を増やせたことです。教科として「プラスチック」、「日本の食べ物」、「空気」、「電気」および「宇宙」(開催順)が行われました。

### ●新しい教室(教科)

平成29年度は残念ながら新しい教科の開発は行われませんでした。が、「ロボット教室」の準備がすすんでおり、平成30年度当初からスタートの予定です。講師の引退により、子ども教室発足時からの「光学・ひかりの実験教室」が終了し、「光学・色の実験教室」と併せて、新年度から「ひかりと色教室」として、リニューアルされることになっています。

### ② 委員会

実行委員会及び予算委員会をそれぞれ毎月開催した他、ホームページ検討会をかながわ県民サポートセンターの会議室で開催しました。(延639人参加)

ホームページ検討会では、会員ページの開設や、教室風景の動画掲載など、ホームページの拡充に成果をあげました。

### ③ 外部への展開

NPO法人きらめきライフ多摩との連携は順調に推移しています。下記の「ねんりんピック秋田2017」では、共催という形で当教室のブース内に「水族館」の出展を頂きました。30年11月開催予定の「ねんりんピック富山2018」にも、同様の体制で参加いただく計画です。